

ペット動物の災害対応



【災害が起こったら】

突然の災害は人にも動物にも大きなストレスがかかります。さらに、慣れない避難所で、大勢の人や見知らぬ動物と一緒に生活では体調を崩しがちです。普段から、健康状態に注意し、ブラッシングで抜け毛をとるなど動物の体を清潔に保ち、予防接種やノミなどの外部寄生虫の駆除をしっかりと行いましょう。また、離れ離れになってしまったペットが、飼い主の元へ戻れるよう身元表示をしましょう。

【同行避難できるペット】

避難所で受け入れるペットはケージやクレートに入る大きさの犬や猫またはうさぎなどの小動物です。また、大型動物や危険な動物、特別な管理が必要な動物は受け入れができませんので、普段から親戚・知人宅へ預けるなど、災害時の受け入れ先を決めておくことが大切です。

【避難所では人とペットは別の場所で暮らします】

避難所では、人とペットは別の場所（自転車置き場、軒下、テント等雨風のしのげる場所）で生活し、ペットの世話は飼い主自ら行うことが原則です。避難所はペットには慣れない環境であることや、ケージ等で飼育することになるためストレスがたまりやすくなりますので、普段よりこまめにケアを行いましょう。

【ペットの備蓄品（携行するもの）】

★優先順位1・・・命や健康にかかわるもの



- ・療養食
- ・フード・水（5日分以上）
- ・予備の首輪、リード（伸びないもの）
- ・ガムテープ（補修等多用途に使用）

★優先順位2・・・飼い主や動物の情報

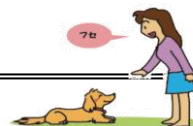
- ・飼い主の連絡先
- ・ペットの写真
- ・ワクチンの接種状況
- ・既往症・健康状態

★優先順位3・・・ペット用品

- ・ペットシート
- ・排泄物の処理用具
- ・トイレ用品（猫の場合使い慣れたトイレ砂）
- ・タオル、ブラシ
- ・洗濯ネット（猫の場合）

【しつけ】

犬の場合：



- 基本的なしつけ（待て・お座り・伏せ等）
- ケージの中に入ることを怖がらない
- 不必要にほえない 等

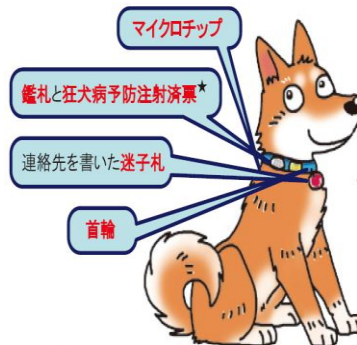
猫の場合

- ケージやキャリーバッグに入ることを怖がらない
- 人やほかの動物を怖がらない
- 猫用トイレでの排泄 等

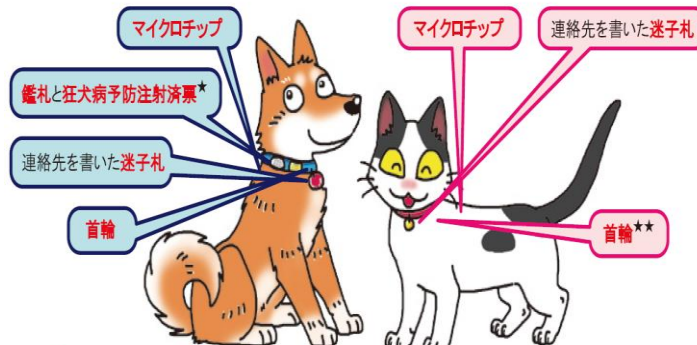


重要です

犬の場合



猫の場合



【同行避難に関する相談窓口】

可茂保健所生活衛生課 0574-25-3111
動物愛護センター 0575-34-0050

問合せ先：美濃加茂市役所環境課 25-2111